兵庫県の地震活動

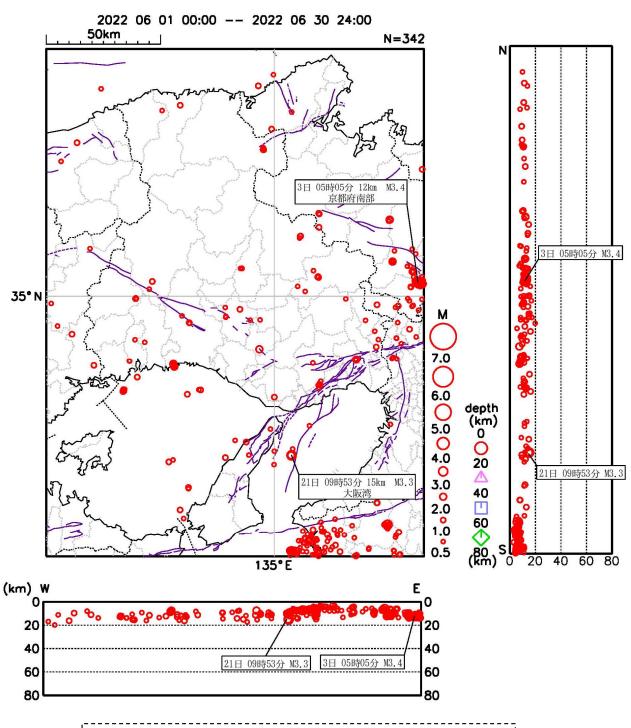
2022年(令和4年)6月

震』	央分	布	义	•	新	面	図	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
概》	兄•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
兵	車県	で見	喪月	变	1	以	上	を	観	測	し	た	地	震	_	覧	表	•	•	•	•	•	•	•	2
兵	車県	で見	喪月	变	1	以	上	を	観	測	し	た	地	震	(T)	震	度	分	布	図	•	•	•	•	3
<u> </u>	コメ	モ																							
¥	主 波	藝士	招拿	垒(\mathcal{D}^{\sharp}	種	緍	ىل	取	ろ	べ	き	行	動	•		•	•	•	•	•				6

- * 「兵庫県の地震活動」は月1回発行し、兵庫県内の地震活動状況をお知らせするととも に、社会的に関心の高い地震について適宜解説を行います。また、「一口メモ」で地震 防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。
- * この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- * また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米 国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデー タを用いて作成しています。

神戸地方気象台

震央分布図 • 断面図



左上:震央分布図 右上:東から見た断面図 左下:南から見た断面図 注)分布図の紫線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

概況

--6月の概況--

今期間、兵庫県内では震度1以上の地震を5回観測しました。

- 3日05時05分 京都府南部の地震(深さ12km、M3.4)により、三田市で震度1を観測しました。
- 9日07時25分 紀伊水道の地震(深さ39km、M3.9、前掲震央分布図範囲外)により、南あわじ市で震度1を観測しました。
- 17日00時51分 徳島県南部の地震(深さ45km、M4.9、前掲震央分布図範囲外)により、洲本市、南あわじ市で震度3を観測したほか、兵庫県内の広い範囲で震度2~1を観測しました。
- 19日15時08分 石川県能登地方の地震(深さ13km、M5.4、前掲震央分布図範囲外)により、豊岡市で震度1を観測しました。
- 21日09時53分 大阪湾の地震(深さ15km、M3.3)により、洲本市、淡路市で震度1を観測しました。

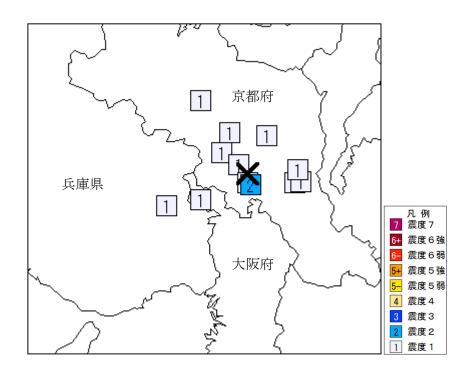
兵庫県で震度1以上を観測した地震一覧表

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	マク゛ニチュート゛	全国最大震度				
各地の震度(兵庫県内)										
6月3日 05時05分	京都府南部	35 ° 02.5'	135° 33.9'	12km	M3.4	震度 2				
震度1:三田市下里*										
6月9日 07時25分	紀伊水道	33° 44.7'	134° 46.7'	39km	M3.9	震度 2				
震度1:南あわじ市福良										
6月17日 00時51分	徳島県南部	33° 54.7'	134° 35.3'	45km	M4.9	震度4				
震度3:洲本市五色町都志*,南あわじ市広田*,南あわじ市湊*,										
震度2:赤穂市加里屋*,洲本市物部,洲本市山手*,南あわじ市福良,南あわじ市北阿万*,										
南あわじ市市*,淡路市久留麻*,淡路市郡家*,淡路市志筑*,										
震度1:豊岡市桜町,朝来市生野町*,神戸北区藤原台南町*,明石市中崎,明石市相生*,										
加古川市加古川町,加古川市志方町*,三木市細川町,三木市福井*,小野市王子町*,										
三田市下里*,加西市下万願寺町,加西市北条町*,丹波篠山市杉*,丹波市春日町*,										
多可町八千代区*,姫路市安田*,姫路市香寺町中屋*,姫路市豊富*,姫路市本町*,										
姫路市網干*,姫路市白浜*,相生市旭,上郡町大持*,宍粟市山崎町船元*,										
たつの市龍野町*,たつの市御津町*,淡路市長澤,淡路市富島										
6月19日 15時08分	石川県能登地方	37° 30.9'	137 ° 16.5'	13km	M5.4	震度6弱				
震度1:豊岡市桜町										
6月21日 09時53分	大阪湾	34° 28.9'	135° 04.0'	15km	M3.3	震度1				
震度1:洲本市物部,洲	震度1:洲本市物部,洲本市五色町都志*,洲本市山手*,淡路市富島,淡路市郡家*,淡路市志筑*									

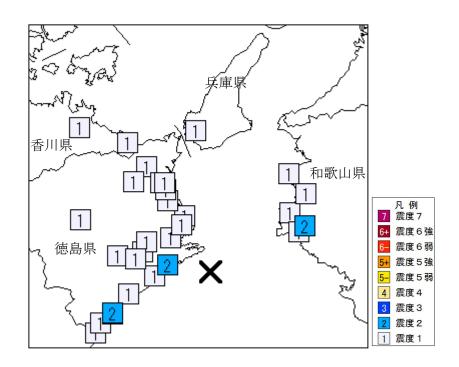
震源要素は、後日修正される場合があります。確定値は「地震・火山月報(カタログ編)」に掲載されます。 なお、*印は気象庁以外の地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

兵庫県で震度1以上を観測した地震の震度分布図

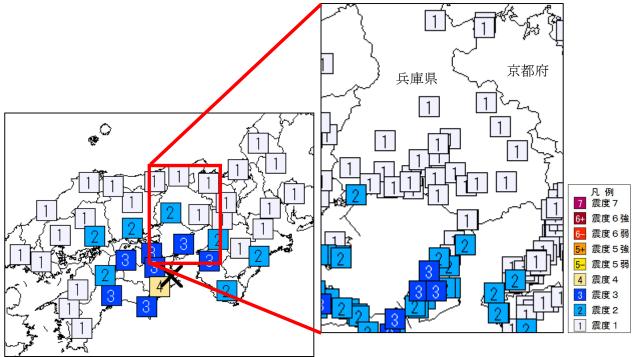
6月3日05時05分に発生した、京都府南部の地震による震度分布図(観測点震度)。×印は震央を表す。



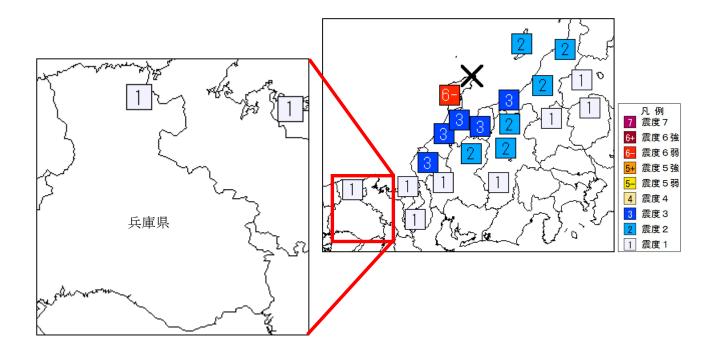
6月9日07時25分に発生した、紀伊水道の地震による震度分布図(観測点震度)。×印は震央を表す。



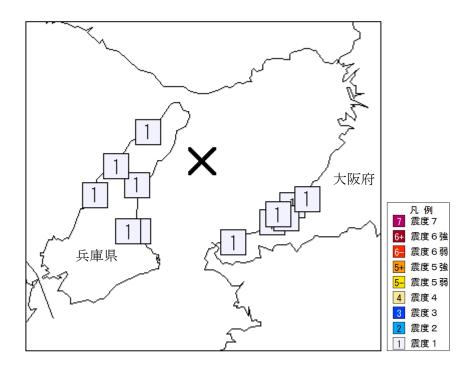
6月17日00時51分に発生した、徳島県南部の地震による震度分布図(左図:地域震度^{*}、右図:観測点震度)。×印は震央を表す。



6月19日15時08分に発生した、石川県能登地方の地震による震度分布図(右図:地域震度^{*}、左図:観測点震度)。×印は震央を表す。



6月21日09時53分に発生した、大阪湾の地震による震度分布図(観測点震度)。×印は震央を表す。



※ 地域震度: 国内を 188 の地域に区分し、その地域内の震度観測点のうち最大の震度を観測した地点の震度を 地域震度としています。兵庫県は、北部、南東部、南西部、淡路島の4地域に区分されています。

一口メモ

津波警報等の種類と取るべき行動

近畿地方は梅雨が明け、海に行く機会が増える季節になります。地震発生時、海岸付近で気を付けないといけないのは津波への備えです。今月は、津波警報等の種類や津波予報区について紹介します。

【 津波警報等の種類と取るべき行動 】

地震が発生し、津波の恐れがあると、予想される高さに応じて、3mを超える場合は大津波警報、1mを超える場合は津波警報、0.2m以上の場合は津波注意報(下表)を、津波予報区単位で発表します。兵庫県には、兵庫県北部、兵庫県瀬戸内海沿岸、淡路島南部の3つの津波予報区があります(右図)。津波警報等が発表されたら、ただちに海岸から離れ、特に津波警報以上の時は、高台や避難ビルなど安全な場所に避難してください。

兵庫県の津波予報区 鳥取県 兵庫県 京都府 北部 兵庫県 瀬戸内海 沿岸 大阪府 香川県 次路島 南部

津波警報等の種類と取るべき行動

	/	7年投口状の、11到	ļ		
7=4		発表される津波の	の高さ		
種類	発表基準	数値での発表	巨大地震の	想定される被害	取るべき行動
		津波の高さ予想の区分	場合の発表		
		10m超			AN ELL THE LETTER AND A STATE OF
去	 予想される津波の高さが	10m<予想高さ		木造家屋が全壊・	沿岸部や川沿いにいる
津油	高いところで3mを超える	10m	巨大	流失し、人は津波	人は、ただちに高台や
大津波警報	場合。	5m<予想高さ≦10m	巨人	による流れに巻き	避難ビルなど安全な場
報	物口 。	5m		込まれます。	所へ避難してください。
		3m<予想高さ≦5m			
		_		標高の低いところ	
津	 予想される津波の高さが	3m		では津波が襲い、	\$ 50m
津波警報	高いところで1mを超え、		高い	浸水被害が発生し	
警	3m以下の場合。	.= !=+ ! .	ID) O	ます。人は津波に	
平区		1m<予想高さ≦3m		よる流れに巻き込	
				まれます。	
津	予想される津波の高さが			海の中では人は速	海の中にいる人はただち
波	高いところで0.2m以	1m		い流れに巻き込ま	に海から上がって、海岸か
津波注意報	上、1m以下の場合であ		(表記しない)	れ、また、養殖いか	ら離れてできる
恵	って、津波による災害の	0.2m≦予想高さ≦1m		だが流失し小型船	ください。
羊又	おそれがある場合。			舶が転覆します。	1,200

【 津波警報等の発表と解除 】

津波警報等は、地震発生から約3分で発表されます。発表されたことを覚知したら、まず避難しま しょう。震源が近い場合、津波警報等の発表が間に合わないことがありますので、強い揺れやゆっく

りとした揺れを感じたら、すぐに避難を開始することも大切です。津波は長い時間、繰り返し襲ってきます。津波警報等が解除されるまでは、避難を続けてください。気象庁では、潮位を監視し、後続の波の推移から慎重な検討を重ね、 津波警報等の解除を行います。

